



橋開発株式会社

- 本社所在地：富山市二口町1丁目9番地の2
- 事業概要：産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、リサイクル製品の製造、販売
産業廃棄物処分委託契約に係る窓口業務
一般廃棄物処理、公共残土置場
- 常時使用する従業員：34名（2024年9月期）
- 現在の売上高：14億円（2024年9月期）
- 法人番号：2230001001625
- Web：<https://www.tachibana-group.jp/overview/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
橋泰行

タチバナグループは、「土から生まれたものは、土に還す」という理念のもと、土木・解体から建設廃材の再資源化、再生材の利活用に至るまで、一貫した体制で循環型社会の実現に取り組んでいます。当社は、その中核を担う再資源化事業を推進しています。

今後、更なる循環型社会の実現には、自然と共生し、生態系と調和しながら、地域の中で資源が循環する「自立・分散型」の社会をつくることが重要であると考えております。私たちは、地域のインフラを支える企業として、また地域の資源循環を担う環境企業として、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

未来を担う次世代に限りある資源と豊かな暮らしを引き継ぐため、これからも地域と連携し、資源の循環に積極的に取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 2034年売上高100億円達成かつ120億円も達成する。
- 2026年と2034年に大型設備投資を行い、達成する。

課題

- 地域資源循環のトップランナーになるための課題は、強みである汚泥再利用技術と廃プラ収集力を活かした再資源化量・率を拡大する新規事業を成長させることである。
- 新規事業を「製鋼副資材事業」を選定。
- 新事業を立上げる為に製鋼副資材製造プロセスを構築する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 本事業遂行が可能な施設を所有している強みを活かし、2026年9月までに設備投資を完了させる。
- 設備投資内容は、建物改修と、製鋼副資材製造ラインと廃太陽光パネルリサイクル設備の導入である。
- 2034年に本事業処理能力を2倍にする。2039年までに防災事業投資を予定している。

実施体制

- 重要経営課題と捉え、社長をプロジェクトリーダーとした体制で取組む。
- タチバナグループの総力を挙げた体制である。
- 外部アドバイザーにも加わっていただく。